

概要版

豊田市消防ビジョン

～第4次豊田市消防整備基本計画～



I 豊田市消防ビジョンについて

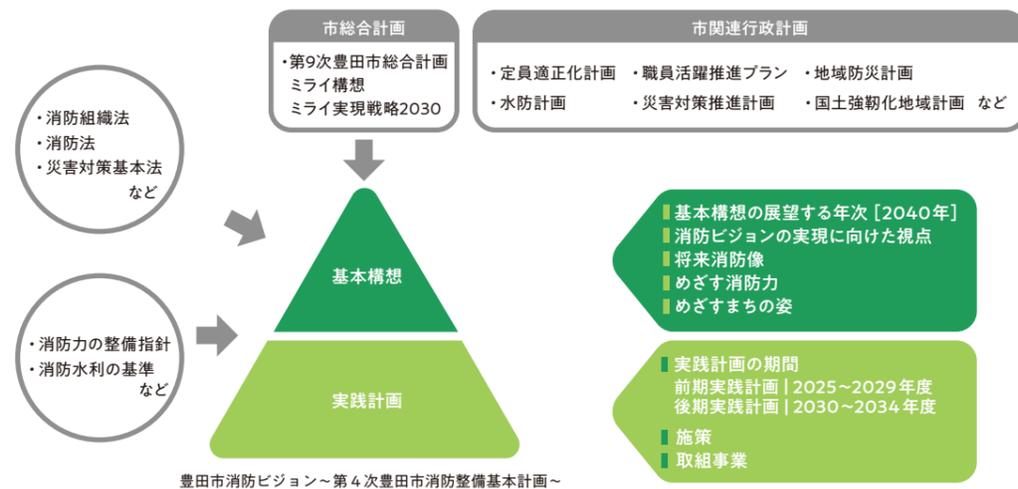
■ 意義と役割

豊田市消防ビジョン～第4次豊田市消防整備基本計画～は、市民が安全で安心して暮らせるまちをつくり、市民サービスの一層の向上を図ることを目的とする本市における「消防力」整備の基本となる計画です。

高齢者人口とともに増加が予測される救急需要や、激甚化・頻発化・多様化する災害に対して適切に対応し、持続可能な消防力を整備するために、中長期的な展望の下に本市のめざす消防力についての考え方を明確にします。

■ 構成と位置づけ、計画期間

本計画は、基本構想と実践計画の二層構造です。



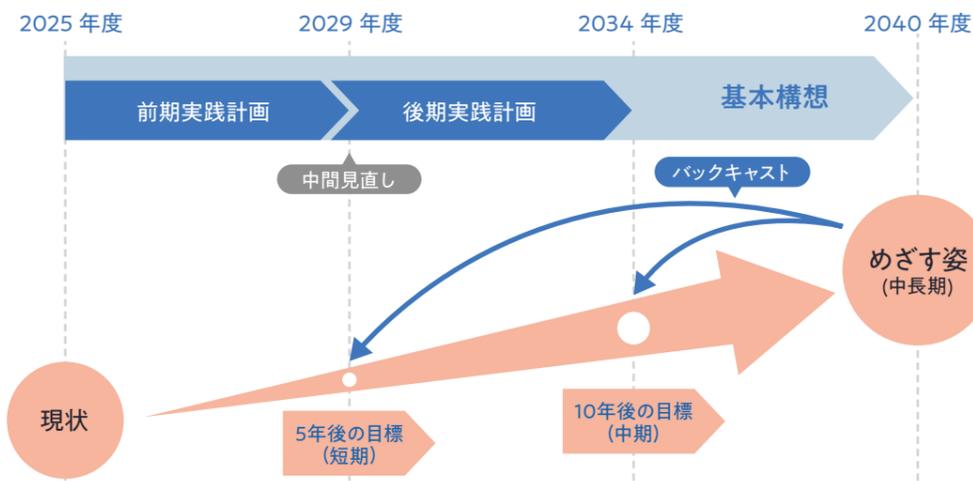
豊田市消防ビジョン～第4次豊田市消防整備基本計画～

基本構想【2040年を展望】

「消防ビジョンの実現に向けた視点」、「将来消防像」、「めざす消防力」、「めざすまちの姿」を示します。

実践計画【前期(2025～2029年度)、後期(2030～2034年度)】

基本構想に掲げる「めざすまちの姿」の実現に向けた具体的な取組を施策、取組事業として示します。



II 豊田市の消防を取り巻く環境の変化、課題

本市の消防を取り巻く環境の変化、課題について整理しました。

1 災害の激甚化・頻発化・多様化

- **大規模地震**
令和6年能登半島地震など
- **大規模災害**
気候変動の影響により雨の降り方が局地化、集中化、激甚化
- **都市型水害、土砂・風水害等**
広大な面積の本市は災害リスクが多様

2 救急需要への対応

- **高齢者人口の増加**
本市総人口は減少傾向だが、高齢者人口は2050年をピークに増加の予測
- **救急需要の増加**
高齢化の進展や気候変動の影響等により、増加する可能性が高い
- **質の高い救急業務提供**
救急隊員の教育や応急手当が普及した地域づくりなどが必要

3 火災による被害への対応

- **全国の火災による死者*** (2014～2023年)
住宅火災での発生が79.7%
そのうち高齢者が71.9%
- **本市の火災による死者*** (2014～2023年)
住宅火災での発生が68.8%
そのうち高齢者が86.4%
- **火災による被害の軽減**が必要
高齢者に向けた住宅防火対策や事業所の消防法令違反の防止
※放火自殺者等を除く。

4 地域防災力の充実強化

- **全国の消防団員数**
若年層の入団者数の減少等により年々減少
近年では80万人を下回る危機的な状況
- **本市の消防団員数**
本市においても減少傾向にあり、平均年齢も上昇
若年層を中心とした新たな担い手の確保が課題

5 持続可能な消防力の整備

- **先進技術の活用**
ロボット等の活用、消防業務DX化
- **施設・水利の老朽化**
施設、水利、車両、資機材等は、財政状況を踏まえた計画的な整備が必要
- **人材育成、職場環境整備、組織体制構築**
多様化する消防業務に対応

6 多様で柔軟な働き方の推進

- **労働環境や働き方の変化**
社会全体の価値観が変容し、テレワークやWeb会議などに対応
- **働きやすい職場環境づくり**
女性職員の活躍推進、男性職員の育児休業取得促進、若手職員の早期退職防止、ハラスメント対策などに取り組むことが必要

III 基本構想

将来消防像

ミライへつなぐ 安心して暮らせる 消防力のあるまち

災害時はもとより、平常時から安心を提供できる消防体制を備えるとともに、未来を見据え、次世代につなぐという向上心を持った消防像として設定しました。

こども・若者をはじめとした各世代の市民が将来にわたり安心して暮らせる消防力を備えたまちをめざします。

めざす消防力

消防力		2040年に向けた考え方(概要)
人員	消防職員	大規模な自然災害や消防需要などに確実に対応するために、多様化する消防業務に対応できる職員配置をめざす。
	消防団員	少子高齢化など社会環境の変化による消防団員数の減少に対応するため、地域の実情に応じた適正な消防団員数の維持をめざす。
	運用救急救命士※	市民に質の高い救急業務を提供するため、運用救急救命士の拡充をめざす。
施設	消防署所	消防署所数は維持し、豊田市の地勢や道路事情などの地域特性を踏まえた適正配置をめざす。
	詰所格納庫	消防団施設の再整備を適切に行いながら、効率的な消防団活動による地域の安全安心の向上をめざす。
機械	消防車両	激甚化・頻発化・多様化する災害への対応力を向上させるため、消防車両数の充実をめざす。
	消防団車両	消防団員数の減少や地域の実情に合わせ、消防団車両の更新を適切に行い、効率的な消防団活動による地域の安全安心の向上をめざす。
	消防団ポンプ	消防団員数の減少や地域の実情に合わせ、消防団ポンプの更新を適切に行い、効率的な消防団活動による地域の安全安心の向上をめざす。
水利	消防水利整備率	災害時に使用できる消防水利を確実に確保し、火災対応力を向上させるため、消防水利の更なる充足をめざす。

※救急救命士資格者のうち、救急現場で救急救命士業務を行う者

めざすまちの姿

将来消防像の「消防力のあるまち」を具現化するために、5つの「めざすまちの姿」を描き、その実現に向けて市民、地域、企業、行政が相互に協力、連携することで、安心して暮らせるまちをめざします。

- 1 みんなで防火に取り組むまち**
 住宅や事業所における防火の取組に加えて、将来を担うこどもや多様な市民への防火防災教育の充実を図り、火災のない「安全・安心」なまちをめざします。
- 2 みんなで命を救えるまち**
 市民一人ひとりが救急医療のあり方を意識するとともに、応急手当の普及や医療、福祉等の多機関連携を強化するなど、強固な救命の連鎖をめざします。
- 3 地域防災力を育むまち**
 自助・共助・公助が一体となり、消防団を中核とした地域の防災活動を担う多様な主体が相互に連携協力した災害に強いまちをめざします。
- 4 あらゆる災害に備えるまち**
 消防活動に必要な整備を万全にするとともに、高度な知識・技能を持つ人材を育成し、関係機関との連携を深めて災害対応力の強化をめざします。
- 5 充実した消防組織が守るまち**
 本市を取り巻く社会・自然環境の変化や多様化する災害リスクに適応し、強固で柔軟に対応できる消防組織の構築をめざします。

ビジョンの実現に向けた視点

1. 人口動態や社会環境・自然環境の変化への対応
2. 技術革新が生む新しい時代への適応
3. 市民や他機関等との連携・協力の推進

めざすまちの姿 1 みんなで防火に取り組むまち

施策1 住宅における防火対策の推進

施策の成果指標

住宅における火災の発生件数

現状値
(2023年度)

24件

方向性



主な取組事業内容

- 高齢者クラブ等の団体に住宅防火の講座を実施
住宅用火災警報器の設置・維持管理の啓発等
- 福祉サービス事業者に防火講習を実施



〈住宅防火の講座〉

施策2 事業所における防火対策の推進

施策の成果指標

事業所における火災の発生件数

現状値
(2023年度)

36件

方向性



主な取組事業内容

- 事業者が事前相談を有効に活用できるように
建築団体等と連携した広報の実施
- 消防用設備等の適正な管理を事業者に指導



〈立入検査〉

施策3 防火防災教育の充実

施策の成果指標

「火事などの災害について関心が
高まった」と回答した割合

現状値
(2024年度)

84.2%

方向性



主な取組事業内容

- 小学校の授業で消防職員が防火防災教育を実施
- 防災学習センターの設備更新や施設の利用促進



〈少年消防クラブでの放水体験〉

めざすまちの姿 2 みんなで命を救えるまち

施策1 救命体制の充実強化

施策の成果指標

突然心臓が停止した人の
近くに居合わせた人が
行った応急手当の割合

現状値
(2023年)

68.5%

方向性



施策の成果指標

重症救急事案に2人以上の
救急救命士が活動した割合

現状値
(2023年)

74.7%

方向性



主な取組事業内容

- 事業所ごとに応急手当普及員を養成し、
講習を実施できる体制づくりを推進
- 長期的視点で救急救命士を養成、育成



〈応急手当講習〉

施策2 救急需要増加への対策

施策の成果指標

救急車が市民等のもとに
到着する時間

現状値
(2023年)

8.9分

方向性



主な取組事業内容

- 救急隊増隊、人材の有効活用及び業務見直しを行い、救急体制を整備
- 福祉・医療など関係機関との連携により、
円滑な救急活動体制を確保
- 救急車の適時・適切な利用を推進し、救急
統計や119番通報方法を周知



〈医療機関との合同訓練〉

めざすまちの姿3 地域防災力を育むまち

施策1 消防団員の確保

施策の成果指標

消防団員一人が支える市民の数

現状値
(2024年度)
223人

方向性



主な取組事業内容

- 女性団員加入促進事業の実施と女性団員が活躍できる環境の整備
- 消防団員の知識・技能を活かせる体制を構築



〈女性団員による操法訓練〉

施策2 消防団を取り巻く活動環境の整備

施策の成果指標

消防団活動拠点(詰所格納庫)の市有割合

現状値
(2024年度)
59.9%

方向性



主な取組事業内容

- 消防団施設や車両の配置等を見直し、災害時の活動拠点を整備
- やりがいと魅力ある消防団活動の推進



〈消防団詰所格納庫〉

施策3 消防団の災害対応力の強化

施策の成果指標

訓練評価を実施した分団の割合

現状値
(2024年度)
0%

方向性



主な取組事業内容

- 消防活動方法等について標準化し、消防団員全体の災害対応力を強化
- 自主防災訓練等での消防団による指導を促進



〈消防団による水防訓練〉

めざすまちの姿4 あらゆる災害に備えるまち

施策1 多様な災害への対応力強化

施策の成果指標

地震、土砂・風水害、火災
に対する新たな体制の構築

現状値
(2024年度)
-

方向性



主な取組事業内容

- 救助活動に対する特定任務業務を再構築
- 資機材の検証、標準化した職員教育・訓練等を実施
- 専門性を有する指揮隊員を育成、指揮運用体制強化



〈地元企業と連携した土砂災害合同訓練〉

施策2 大規模災害への対策強化

施策の成果指標

市内発災時における現場活動能力
と受援体制の再構築

現状値
(2024年度)
-

方向性



主な取組事業内容

- 大規模災害発生直後から受援までの体制を強化
- 土砂・風水害に対し研究、訓練、関係機関との連携強化



〈令和6年能登半島地震での救助活動〉

施策3 消防機械・水利の整備

施策の成果指標

先進技術を活用した
消防資機材の整備

現状値
(2024年度)
-

方向性



施策の成果指標

防火水槽の地震対策実施率
(地震対策済防火水槽/容量40m以上の防火水槽)

現状値
(2024年度)
38%

方向性



主な取組事業内容

- 消防用ロボット等の消防用資機材の導入検討
- 防火水槽の地震対策を実施



〈消防用ロボット〉

めざすまちの姿 5 充実した消防組織が守るまち

施策1 高度で質の高い人材育成

施策の成果指標

消防職員一人当たりが受講する
高度で専門的な教育訓練数

現状値
(2023年度)
1.7件

方向性



主な取組事業内容

- 高度で質の高い人材育成につながる新たな研修計画を策定
- 高齢期職員に対して研修を行い、組織パフォーマンスを高め、組織としての活力を維持



〈若手職員育成研修〉

施策2 多様で柔軟な働き方の推進

施策の成果指標

採用5年以内の消防職員のうち
離職していない消防職員の割合

現状値
(2019~2023年度)
89.4%

方向性



主な取組事業内容

- 女性消防職員がライフステージに合わせた柔軟な働き方ができる体制を確立
女性消防職員の計画的な確保
- 男性育児休業取得を促進
- 事業のスクラップやデジタル技術の活用による事務の効率化



〈女性専用施設〉

計画の体系

基本構想

前期実践計画

めざすまちの姿

施策

取組事業

1 みんなで防火に取り組むまち

- 1 住宅における防火対策の推進
- 2 事業所における防火対策の推進
- 3 防火防災教育の充実

- 1 高齢者に向けた防火啓発
- 2 福祉事業者と連携した防火指導
- 1 消防法令違反への対策強化
- 2 消防用設備等の適正管理指導
- 1 こどもに向けた防火防災教育の充実
- 2 防災学習センターを拠点とした防火防災啓発

2 みんなで命を救えるまち

- 1 救命体制の充実強化
- 2 救急需要増加への対策

- 1 事業所等における応急手当普及員の養成
- 2 複数の救急救命士による活動の高度化
- 1 救急業務体制の整備
- 2 多機関との連携体制の充実
- 3 救急車の適時・適切な利用の推進

3 地域防災力を育むまち

- 1 消防団員の確保
- 2 消防団を取り巻く活動環境の整備
- 3 消防団の災害対応力の強化

- 1 女性団員の活躍推進
- 2 機能別団員制度の拡充
- 1 消防団施設・車両の整備
- 2 やりがいと魅力ある消防団活動の推進
- 1 消防団活動に必要な知識・技術の習得
- 2 消防団を主体とした地域連携の強化

4 あらゆる災害に備えるまち

- 1 多様な災害への対応力強化
- 2 大規模災害への対策強化
- 3 消防機械・水利の整備

- 1 特定任務業務の再構築
- 2 火災対応の維持強化
- 3 指揮運用体制の強化
- 1 被災から受援までの体制強化
- 2 土砂・風水害への対策強化
- 1 消防用資機材の整備
- 2 防火水槽の最適化

5 充実した消防組織が守るまち

- 1 高度で質の高い人材育成
- 2 多様で柔軟な働き方の推進

- 1 新たな研修計画の策定
- 2 高齢期職員の能力活用
- 1 女性消防職員の活躍推進
- 2 働きやすい職場の確立
- 3 事業事務の適正化

豊田市消防ビジョン

～第4次豊田市消防整備基本計画～

2025年3月発行



豊田市消防本部

〒471-0879 愛知県豊田市長興寺5丁目17番地1

|TEL| 0565-35-9717 |FAX| 0565-35-9709 |E-mail| shoubou-soumu@city.toyota.aichi.jp